

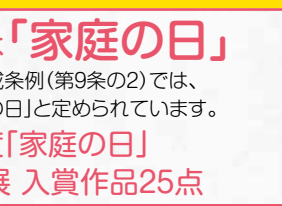
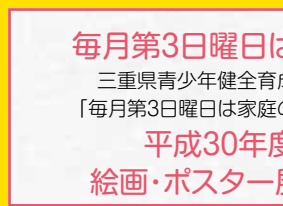
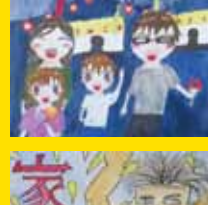
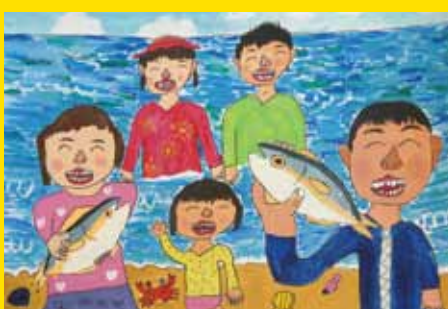
わかすぎ

vol.145 2019.6



公益財団法人
三重こどもわかもの育成財団
三重県立みえこどもの城

〒515-0054
三重県松阪市立野町1291
中部台運動公園内
TEL 0598-23-7735 FAX 0598-23-7792
ホームページ <https://www.mie-cc.or.jp>



毎月第3日曜日は「**家族の日**」

三重県青少年健全育成条例(第9条の2)では、
「毎月第3日曜日は家族の日」と定められています。

平成30年度「家族の日」

絵画・ポスター展 入賞作品25点



財団のシンボルマーク

地域社会の大きな枝葉が、子どもや若者や家族を温かく包み込むように支えるマークとなっています。中心の円の三色はそれぞれ黄色は「子ども」、
橙色は「若者」、青色は「家族」を表しており、地域社会とともに育成支援をしていこうという当財団の思いを表しています。



みえこどもの城
キャラクター「しろぼ」も
一緒に記念写真！

～第3日曜日は「家庭の日」～ 平成30年度「家庭の日」絵画・ポスター展

三重県では、毎月第3日曜日を「家庭の日」として、明るく楽しい家庭づくりを進めています。この「家庭の日」に、家族のきずなや家庭を支える大切さなどの理解を深めるために、「家庭の日」絵画・ポスター展を実施しています。今年度は、県内の小・中学校から264作品の応募があり、その中から25作品が選ばれました。平成30年12月16日（第3日曜日）みえこどもの城において、表彰式と特別イベントのミニコンサートが行われました。

特別イベント
「ミニコンサート」



知事賞



みえこどもの城館長賞は
キャラクターの「しろぼ」から



理事長賞



童話作家村上しいこ審査員の
受賞者へ感想インタビュー



巡回展示

協力：三重県内青少年育成市町民会議

後援：三重県、三重県教育委員会、三重県小中学校長会、三重県PTA連合会、三重県私学協会、NHK津放送局、三重テレビ放送株式会社、株式会社中日新聞社

※順不同

平成30年度 公益財団法人 三重こどもわかもの育成財団 表彰

子ども若者の育成支援にご尽力いただいた方々に対して、表彰を行いました。受賞者の皆さまは、今後益々の活躍も期待されます。おめでとうございます。



受賞者紹介（順不同・敬称略）

個人 青少年

ゆみや しゅうへい
弓矢 修平 鈴鹿市

三重県スポーツ少年団リーダーとして、長年にわたり活動された。そのご自身の体験を活かしながら、書記、会長として三重県スポーツ少年団リーダー会を牽引されてきた。また、東海4県のリーダー会、全国リーダー連絡会への参加、発表など会長としてリーダーシップを発揮された。現在は、若手リーダーの支援・育成に尽力されている。

個人 青少年指導者

やまもと たかふ
山本 たか代 いなべ市

長年、いなべ市子連の理事やいなべ市青少年育成市民会議の推進委員として、地域の子どもの育成から年配の方までの各年齢層に対して指導されている。これまでに身に付けた知識や技をいかに発揮し、明るい雰囲気づくりと共に地域のコミュニティ活動をされていた。それぞれの活動は地域の中で高く評価され他の模範となっている。

たかぎ むねお
高木 宗臣 尾鷲市

長年にわたり、尾鷲市青少年育成市民会議の活動に参加されている。平成19年度からは会計として平成26年度からは副会長として役員の活動に携わり、青少年の健全育成・非行防止活動に欠かせない多大なる貢献をされており、現在も活躍されている。

みえこどもの城 サテライト事業 始動！！

いなべ市の放課後子ども教室「ほくせい」と熊野市のNPO法人あそぼらいつの2か所が今年度からみえこどもの城の拠点先（サテライト）となりました。

連携・協働を図り、より発展的な遊びの指導や子育て支援の取組みを進めます。



放課後子ども教室「ほくせい」
～思い出づくりは人づくり～

放課後子ども教室「ほくせい」は地域の学校と称し、地域のいろんな知識や技を持った方々に教室企画をしていただき、生徒を募集して開催している施設です。幼少期の思い出づくりは人づくり。遊びを通して楽しい思い出をいっぱい作ってほしいと思います。



NPO法人あそぼらいつ
～子どもの生きる力を育む～

NPO法人あそぼらいつでは、学年関係なく関わりを持ちながら自分の「主体」を感じ、他者の「主体」も尊重できる人になれるように支援します。一人一人の思いや考え、発想などを大切にしていき「子どもの本来ある力」を発揮できる場、また、遊びを保障できる環境を創ることで、子どもを支援していきたいと思っています。



三重県立みえこどもの城 開館30周年記念イベント

平成元年に開館した「みえこどもの城」は、平成30年6月に30周年を迎えることができました。この30年間を支えていただいた歴代館長や各関係者、来館する全てのお客様にその感謝の気持ちを伝えるため、イベントを開催しました。

平成30年10月13日（土）、14日（日）の2日間

第1弾 「おかげさまで30周年 みーんな〇」



参加してくれたこどもたち



伊勢工業高校電気科の
皆さんに作っていただいた
記念コースター



亀井大輝さん



三重大学ジャグリングサークル
「ジャグリアーノ！」



皇學館大学よさこい部「雅」

平成31年3月9日（土）

第2弾 「プラネタリウム・ファンタジー シンデレラ ～歌とピアノで描く音楽劇～」

この音楽劇は、地域の音楽グループとみえこどもの城スタッフ、そしてみえこどもの城のボランティアが一丸となって、平成30年の夏ごろから約半年をかけて作り上げたものです。脚本・衣装・小道具・映像なども、すべて自分たちで作ったり、手直しを加えて用意しました。また、ドームシアターという特殊な劇場を使い、小さな子どもたちにも楽しんでいただけるよう様々な工夫を凝らしました。観覧された皆様からも「きれいな歌声と音楽と映像の世界に引き込まれました」「今までに見たことのない音楽劇で楽しかった」などの感想をいただきました。



協力：音楽のアトリウム
みえこどもの城
ボランティアの皆さん



小道具などもボランティアの皆さん
で手作り。



音楽劇の前には30周年記念セレモニーも開催。



三重中学校の生徒たちもネズミ役として登場！本番当日にむけ、ボランティアや出演者の皆さんで何度も練習を行いました。



（株）ボンタイム様（松阪市）にご提供いただいた記念クッキー。観覧者全員にプレゼントしました。

第6回

オレンジまつり

平成30年
11月4日(日)



11月の子ども虐待防止月間に三重県と共に今年で6回目となる「オレンジまつり」を開催しました。今年は新しい試みで、地域の企業・団体の大人と子どもがより身近に関わることができる様、「宝探し」ゲームを行いました。大人のいる各ブースに行き、クリアするとお宝ゲット！

また、キッズダンサーのステキなパフォーマンスや大学生の吹奏楽演奏もあり、あいにくの雨でしたが、2階舞台スペースでわいわい盛り上がりしました！



主催：三重県、公益財団法人三重こどもわかもの育成財団 協力企業・団体：岡三証券株式会社 松阪支店、子育て・女性健康支援センター・みえ、日本土木工業株式会社、株式会社ビコーインプレス、(特)松阪子どもNPOセンター、株式会社ヒラマツ 虹の夢 津、社会福祉法人まつさか福祉会 向野園、皇學館大学アンサンブル部「animato」、はぐくみ隊(みえこどもの城食育ボランティアグループ)、松阪市、FITNESSCLUB AMIY、三重県立伊勢工業高等学校、みえこどもの城ボランティア、株式会社マサヤ、立野地区のみなさん、有限会社上野屋、有限会社野瀬商店、精肉とり焼 新家 ※敬称略・順不同

うきさとの おひなさまがやってくる！

平成31年
2月11日(月・祝)



松阪市宇気郷地区に保存されていた貴重な雛人形が、みえこどもの城にやってきました！ みんなで、ちょっぴり早いひなまつりを楽しみました。

雛段飾りとお駕籠はイベントホール入口に展示しました。協力：宇気郷住民協議会、松尾まちづくり協議会 出演：音楽のアトリエ ムジカーノ



おひなさまの乗ったお駕籠は、松阪市宇気郷公民館長(写真：左)の手づくり。



ひいなクラブのみなさんと一緒に、おひなさまを飾りました。



ムジカーノさんによるおひなさまコンサート。みんなで一緒に歌いました。



宇気郷の方から子どもたちの手におひなさまが受け渡されました。

平成30年度 地域協働大型事業

第6回 むかしあそびっておもしろい！

平成31年3月10日(日) 入館者数：2,097名 協力団体・企業・大学：18団体 107名

懐かしい遊びを、幅広い世代で楽しんでいただくイベントです。むかしながらの餅つきや竹馬など、たくさんのご家族が夢中で体験されました。



初参加！ 玉城町青少年を育てる会



今回はじめて参加させていただきました。カルタという簡単な遊びではありましたが、子どもたちが楽しそうに遊んでいるのを見て、我々大人の方がその面白さを再発見できたような気がします。来年も是非参加したいです。

協力団体一覧：いなべ市青少年育成市民会議、放課後子ども教室「ほくせい」、四日市市青少年育成市民会議・四日市市少年自然の家、玉城町青少年を育てる会、尾鷲市青少年育成市民会議、紀宝町青少年育町民会議、松尾まちづくり協議会、立野地区のみなさん、音楽研究所、お話と音楽ボランティアのかのん、(公社)松阪市シルバー人材センター「あざみの会」、日本けん玉協会三重県支部、松阪おもちゃの病院、ふれあい長寿津、いせわんご事務局、高田短期大学、三重中学校・三重高等学校、みえこどもの城ボランティア ※敬称略・順不同

てづくりゲームプロジェクト 完成披露イベント

平成30年10月28日(日)

子どもたちにゲームの遊び方を説明する様子

プロジェクトメンバー

三重県立四日市中央工業高等学校
旭電気株式会社
公益財団法人 三重こどもわかもの育成財団

企業と高校生のコラボプロジェクトの一環で、『みえこどもの城にあって楽しいゲーム』を開発していただきました。ゲームの内容・耐久性・安全面… いろんなことに配慮された素敵なゲームができあがりました。みえこどもの城1階に設置され、遊ぶ子どもたちの声が毎日響いています。



やきゅうゲーム

今回のプロジェクトは子どもたちに楽しく遊んでもらえるように、全力で挑みました。この野球ゲームは複雑なルールが多い野球を簡単なゲームにしたので遊びながら少しでも野球に興味を持ってくれると嬉しいです。誰でも楽しく遊べると思うので皆さんぜひ遊びにきてください。

黒田流星
三重県立四日市中央工業高等学校
電気科 3年



F1ゲーム

今回のプロジェクトで、最初はどんなことをするのかとても不安でしたが、子どもたちが楽しんで遊んでもらうために完成するまでメンバーとたくさんの意見を出し合い、試行錯誤を繰り返しながら製作しました。このゲームで楽しんでもらえたら嬉しいです。

伊藤大翔
三重県立四日市中央工業高等学校
電気科 3年



気持ちをあわせて



スロットゲーム

電気科で勉強してきたことを生かして、子どもたちに楽しんでもらえるようなゲーム作りをしてきました。そして部員全員で協力し合い、悩みながらも完成させることができました。それぞれ全く種類の違うゲームなので、自分に合ったゲームを見つけて楽しんでもらえたらうれしいです。

嶋津直輝
三重県立四日市中央工業高等学校
電気科 3年

「子どもの椅子プロジェクト第3弾」完成披露イベント

平成31年1月20日(日)

プロジェクトメンバー

三重県立伊勢工業高等学校 建築科
株式会社 ビコーインプレス
公益財団法人 三重こどもわかもの育成財団

このプロジェクトは、みえこどもの城に『子どもの目線に立った机や椅子がない』『子どもを主人公とした机や椅子を置きたいなあ』と思ったことから始まりました。三重県の子ども応援隊企業である株式会社ビコーインプレスさんに相談し、デザインは若い感性を活かしたものを作りたいとの気持ちで、伊勢工業高校のみなさんをお願いしました。実際に一緒につくり始めて、なんと今年で3年目となりました。今回のテーマは、「3階アートコーナーで子どもが使う机」です。完成した机や椅子はみえこどもの城のあちこちにあります♪ 遊びや体験コーナーだけでなく、椅子や机にも注目してみてくださいね。



平成29年度作品



パンダの置物



昆虫の星型テーブル

平成28年度作品



もぐる椅子



動物の椅子



和風格子の机と椅子



木陰のうち

青少年育成市町民会議 活動紹介

県内の各青少年育成市町民会議では、青少年の健全育成を目的とし、様々な活動をしています。今回は4つの市町をご紹介します。

三河支部 朝日町青少年育成町民会議



朝日町青少年育成町民会議は昭和54年3月に設立され、設立から40年以上が経過し、社会の変化とともに青少年を取り巻く環境も大きく変わってきている中、今の時代に即した町民会議の在り方を模索しつつ、事業を推進しています。

主な活動としては、
**「大人が変われば
子どもも変わる運動」**

- ①『まず、大人自身が変わる』啓発活動の推進
 - ②『地域のおじさん、おばさん運動』の推進
 - ③『モラル向上をめざした取り組み』の推進
- 具体的な内容として、町内を巡回し非行防止に努める「夏休み非行防止パトロール」、町民でつくる夏祭り「サマーフェスタASAHI」の会場でのパトロール及び出店を行って、非行防止に努めています。また、毎年5月には美化清掃活動として「ごみゼロ

運動」にも積極的に参加しています。今後とも、子どもたちが安心して成長していくため、「地域」や「家庭」即ち私たち大人が何をしなければいけないのかを考えながら、積極的に活動していきたいと考えています。また、本年は、昭和29年10月に町制を施行してから65周年となり、年間を通じてさまざまな記念事業が開催される予定です。

鈴鹿支部 鈴鹿市青少年育成市民会議

鈴鹿市青少年育成市民会議は、昭和53年に設立され、その後平成16年に参加団体による自主的な運営を目指して教育委員会から事務局が独立し、現在に至っています。この間、青少年健全育成の課題も大きく変化し、現在は小中学生の体験活動の支援とより幅の広い世代の青少年をつなぐことを目指して事業を進めています。

主な事業には「夏休みモノづくり

体験教室」があります。ここでは小学生講座3、中学生講座1、大人講座1を開設し、ものづくりの面白さと大切さを学ぶことができました。また、高校生、高専の学生、三重大大学の学生さんも小中学生の指導に加わり、多くの世代が様々な形で青少年育成に関わることもできました。

市民を対象とした公開講座では、白子高等学校吹奏楽部を招いて、彼らの演奏に乗せて小中学生作文コン

クール表彰式と顧問の桐生先生の講話を聴くという構成で実施しました。小中学生からも質問や意見があり、会場に一体感が生まれ、最後まで楽しく学習することが出来ました。この他にも市内の各地域では市民会議とともに様々な活動を行っていますが、これからも、新しい課題に対応しながら青少年育成に携わっていききたいと考えています。



津支部 津市青少年育成市民会議

津市青少年育成市民会議は、非行防止・地域安全を題材としたポスターを中学生に募集し、街頭啓発グッズなどに掲載し、中学生の思いに触れていただく機会の提供や青少年育成者への研修会、中学生を対

象とした学校や地域のリーダーとして活躍できる人材を育成するリーダーズセミナーの開催などを行っています。また、20地区(中学校区



単位)の地区青少年育成組織があり、青少年への街頭指導、環境浄化活動や青少年との交流事業など、各地域で特色ある青少年健全育成活動に積極的に取り組んでいただいています。今後も青少年の健やかな成長を見守る活動をしていきたいと考えています。

松阪支部 大台町青少年健全育成推進協議会

大台町青少年健全育成推進協議会は、町内4つの地区青少協で構成されている組織で、夏休みや冬休みのパトロールを行い夜間徘徊防止に努めています。また、各種イベント時には非行や喫煙の防止啓発、親子で参加のみそづくりや料理教室、海釣



りイベント等を展開しています。

その他、新たな試みとして平成30年度から、これまで一部の地区青少協で行っていた夏休みの絵画募集を全町対象で行いました。結果、45点の作品応募があり、それらの作品は毎年秋に行われる大台町の一大イベント「どんとこい大台まつり」において展示を行ったほか、優秀作品などの表彰を同イベントステージ上で行いました。



その他にも様々な活動を行っていますが、青少年の世代を超えた繋がりや家族との絆の大切さを感じ取ってもらえるような取り組みを展開していきたいと考えています。

三重県青少年育成市町民会議連合会 設立のお知らせ

「三重県青少年育成市町民会議連絡会」の組織改革に伴う今後の具体的な活動や運用について、市町民会議と公益財団法人三重こどもわかもの育成財団で約1年間議論を重ねてきました。このたび、「三重県青少年育成市町民会議連合会」に組織変更するとともに、市町民会議等の主体的な活動を支援、青少年の健全育成に関する活動を推進していきます。

平成31年2月17日(日)・23日(土)

「がチャがチャ」で本音トーク!

みえ
こどもの
城

「こどもモニター」を実施しました。

みえこどもの城がどんなふうになったら、楽しいかな?

子どもたちの感想や意見を、スタッフが直接聞き、より良いこどもの城にするための「こどもモニター」を実施しました。

今回のモニターでいただいたご意見を、これからの運営に活かしていきたいと思います。

STEP1

館内の各ブースを体験

参加者みんなの自己紹介のあと、工作や、プラネタリウム、イベントホールの「ボードゲーム展」を、それぞれ体験。



STEP2

ガチャガチャで出た「テーマ」に沿って みんなで本音トーク!



テーマは、「こどもの城に何があったら楽しい?」「どんな遊びがしたい?」「しろぼが得意なものを考えよう」など様々。

子どもたちからも、いろんな意見が飛び出しました。

テーマ

こどもの城に来た友達と
何をして遊びたい?

おにごっこ こおりおに
なわとび かくれんぼ

テーマ

(こどもの城のキャラクター)
しろぼが何をして
君を迎えてほしい?

ダンスでかっこよく
さらまわしやけん玉かな



ガチャガチャトークとともに、こどもの城のこれまで実施したイベントについても、子どもたちにアンケートを実施しました。

「キッズおしごと広場」や「忍者修行体験」、「(ボランティアさんがディアポロを教えてくれる)玄関前遊具」など体験型のイベントやブースが人気でした。

公益財団法人三重こどもわかもの育成財団からのお知らせ

①寄附のお願い

皆様からのご寄附により、公益財団法人三重こどもわかもの育成財団の活動が一層充実します。

当財団が実施している次世代の三重県を担う児童・青少年の育成に関する様々な事業は、事業収入及び県立みえこどもの城の指定管理料によって運営しています。個人法人を問わず幅広い皆様からのご支援をいただくことにより、一層の事業の拡大・充実を図ることができます。

是非ご寄附をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

寄附金の税の優遇措置

当財団は、三重県知事より「公益財団法人」としての認定(平成24年4月1日移行)を受けています。

公益財団法人は、税法上の「特定公益増進法人」に該当し、当財団が実施している公益目的事業を支援するために支出された寄附金については、税制上の優遇措置が受けられます。

〈詳しくは、税務署にお尋ねになるか、国税庁のホームページ(<http://www.nta.go.jp/>)でご確認のほどお願いいたします。〉

②みえこどもの城は平成31年4月1日から全面禁煙となりました

「健康増進法の一部を改正する法律」(受動喫煙対策)の施行に伴い、館内及び敷地内は全面禁煙とさせていただきます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

③財団設立15周年について

公益財団法人三重こどもわかもの育成財団は、今年度設立15周年を迎えます。

この15年を支えてくださった皆様に感謝申し上げます。

④広報機関誌「わかすぎ」について

わかすぎの発行は今年度から年1回の発行となります。次回の発行は、令和2年6月発行の予定です。

